

WARABI BRAND

蕨を伝える「自慢の一品」をご紹介します



蕨市



わらびりんご
ようかん

大人のプリン



時を紡ぎ、蕨を描く-刺繍
ワッペンシリーズ

蕨ブランド認定品 Contents

ラ・テラス大作 ■ 大人のプリン	4
有限会社 岡本洋品店 ■ 時を紡ぎ、蕨を描く-刺繍 ワッペンシリーズ	6
わらびりんご生産管理団体 ■ わらびりんごようかん	8

【発行】蕨市

【問い合わせ】商工観光課 〒335-8501 埼玉県蕨市中央5-14-15

電話 048-433-7750 E-mail shouko@city.warabi.saitama.jp

2026年3月



蕨市



第四期 蕨ブランド 認定品が 決定しました!

大人のプリン

1 ラ・テラス大作
販売価格 400円(税込)



時を紡ぎ、蕨を描く - 刺繍 ワッペンシリーズ

2 有限会社 岡本洋品店
販売価格 1,200~2,000円(税込)



わらびりんご ようかん

3 わらびりんご生産管理団体
販売価格 1袋8個入り650円(税込)



※販売価格は2026年3月現在



蕨を伝える自慢の逸品 「蕨ブランド認定制度」



蕨市長 頼高英雄

蕨市では、にぎわいあふれる元気なまちづくりに向けて、蕨の地域資源や特長を生かした、魅力やストーリー性にあふれる優れた商品を認定する「蕨ブランド認定制度」を設けています。

2016年の第一期以来、三期にわたり本市ならではの魅力ある商品を認定してまいりましたが、この間、多くの市民の皆様にご覧になるとともに、数々のメディアや埼玉県からも紹介されるなど、蕨の魅力を発信し、再発見する機会として着実に歩みを重ねております。

蕨ブランド認定制度は、審査会による伴走型の商品改良と選考を重ねていますが、第四期では、三事業者三品を新たに認定いたしました。いずれも高い品質に加え、発想力や物語性に富み、蕨の魅力を体現する商品で、事業者の皆さんの創意工夫と蕨への深い思いが随所に込められています。

本パンフレットでは商品の魅力とともに、誕生の背景やつくり手の思いも紹介しています。ぜひ、多くの皆さんに実際に手に取って、蕨の新たなオススメを体験いただくとともに、今後も本制度が人と人、地域と未来を結ぶ架け橋となり、蕨の発展につながることを願っています。



ラ・テラス大作 大人のプリン



販売価格：400円（税込）



Interview



「大人のプリン」と謳っていますが、当店にいらっしゃるお客様を見ているとご年配の方からお子さんまで幅広い年代の方に召し上がっていただいています。カラメルソースに使用している黒ビールは熱を加えることでアルコールも飛んでいますし、ほろ苦さは絶妙に残しつつもビール特有の風味も感じられません。

これまでイベントに出店したり、メディアで紹介されたこともあり「大人のプリン」を通して多くの人に蕨を知っていただくことができました。今回、蕨ブランドに認定いただき、また一段上のステージに上がったような感覚もあり、これからもプリンの可能性を追及していきたいと思っています。

ラ・テラス大作
オーナーシェフ 須賀 泰史さん

蕨高校料理部も開発に加わったご当地スイーツ

「大人のプリン」誕生の歴史は2009年に遡ります。蕨商工会議所が中心となりご当地スイーツを開発するプロジェクトが立ち上がりました。地元レストランのシェフをはじめ、料理研究家、蕨高校料理部も開発に加わり、約2年の歳月を経て完成しました。

米粉のスフレと濃厚なカスタードの2層になった「大人のプリン」は、隠し味に黒ビールを使用したカラメルソースと混ぜ合わせて食べるのがポイントで、甘さとほろ苦さの絶妙なバランスを楽しむことができます。成人式発祥の地にふさわしい大人の味わいを意

識した一品に仕上がっています。

開発から15年、基本的な材料や作り方はそのままに、オーブンの火の入れ方を工夫したり風味を良くするため香料を使わずバニラビーンズにこだわったりと、プリンと向き合うシェフの情熱も当時と変わらない様子です。蕨ブランド認定のタイミングでパッケージを刷新し、蕨高校との共同開発で誕生したというメッセージをあらためて打ち出しました。一つひとつ丁寧に作るプリンは、その味わいもさることながら地元への思いも感じられる胸熱な一品です。

地元で愛されるとんかつ & ステーキの名店

開業から30年を迎えるラ・テラス大作は、看板メニューのとんかつ、ステーキをはじめハンバーグやカツカレー、タンシチューなど世代を問わず愛される肉料理を提供するレストランです。蕨駅西口から徒歩4分。駅前の再開発事業に伴い、現在の場所へ移転したのは2019年11月のこと。木のぬくもりとカジュアルな雰囲気が心地良く、週末ともなると地元の常連客や家族連れで賑わう地域の名店です。

オーナーシェフの須賀泰史さんはフランスのお店で修行した経歴の持ち主で、前菜からデザートまで一品

一品丁寧に作り上げるその料理は格別です。当時デザートで提供していたプリンが蕨商工会議所の目に留まり、ご当地スイーツの開発メンバーのひとりとして白羽の矢がたったそうです。

「大人のプリン」は食後のデザートとして店内で食べられるほか、テイクアウトもできるため手土産にもお勧め。また毎月29日は肉の日にちなんで看板メニューのとんかつとステーキをサービス価格で提供しているそうです。月に一度のプチ贅沢を求めて訪れてみてはいかがでしょうか。



オーナー厳選の卵

スフレ生地をのせて焼き上がり

サクっとふんわり

焼き時間へのこだわり

ラ・テラス大作

住所 蕨市中央 3-4-1 キョタビル 1階
電話 048-430-3303
営業時間 11:30～15:00 (L.O.14:30)、
17:30～22:00 (L.O.21:15、ドリンクL.O.21:30)
定休日 月曜日・木曜午後休 (毎月29日は営業)
※販売は営業時間のみ。予約可。



<https://laterrasse-daisaku.gorp.jp>



落ち着いた店内の雰囲気

自慢のとんかつ

店内の様子



有限会社 岡本洋品店

時を紡ぎ、蕨を描く-刺繍ワッペンシリーズ



販売価格：1,200～2,000円(税込)

オリジナルデザインが評判のまちの刺繍やさん

細部にまでこだわる高い技術と世界にひとつだけのオリジナルデザインを仕上げてくれるまちの刺繍やさん—岡本洋品店。蕨駅西口から徒歩11分。古き良き街並みが今なお残る、蕨中央商店街の一角にお店を構えています。

1912(大正元)年に足袋屋として創業し、作業服やお祭り用品の取り扱いなど、時代の流れや地域のニーズを汲み取りつつ歩んできた歴史あるお店です。お祭りの時期になると足袋やダボシャツを求めて遠方からも多くのお客様が訪れます。

4代目店主の岡本隆士さんは先代が導入したコン

ピューターミシンによる刺繍をさらに充実させ、名前はもちろん企業・団体名、ロゴのほか、持ち込みのイラストや図案をもとにオリジナルの刺繍を仕上げてくれます。これまでアイドルグループの応援グッズや、ミュージシャンの衣装に刺繍を入れる依頼もあったそうでクオリティの高さが伺えます。

店内には3代目と4代目がそれぞれ制作した刺繍のデザインサンプルも数多く、一つひとつ個性や色合いの異なる作品を見るだけで刺繍の奥深さを感じることができます。



Interview



刺繍ワッペンは一般的な布地であればアイロンで簡単に圧着することができます。ビニール素材などアイロンが使えない場合は当店で縫い付けることもできるため気軽にお問い合わせください。当店にはお気に入りの革ジャンにワッペンを縫い付けて欲しいというお客様も少なくありません。他にも丈つめや刺繍を取る作業など様々なご要望にもお応えします。

柔道着や空手着に「刺繍で名前を入れたいんだけど、何色にしたら良い?」といった質問をいただくことも多く、お店で実際に糸の色を見ながら選んでいただくことも可能です。

有限会社 岡本洋品店
おかもと たかし
4代目店主 岡本 隆士さん

蕨の魅力を表現した11種類の刺繍ワッペン

蕨ブランドに認定された直径6cmの刺繍ワッペンシリーズは、実際に手に取るとあらためてその繊細さ、緻密さに驚かされます。蕨の文字を大きく描いたシンプルな絵柄から、和樂備神社の社殿を再現した複雑なデザインまで、コンピューターミシンの特性を熟知しているからこそ表現できる一本一本の糸の美しさが立体感となって輝きを放っています。

デザインは「日本一小さな市・ワラビー・わらびりんご・機まつり・成年式・双子織・塚越稲荷社・中山道・和樂備神社・本社神輿・藤棚と三学院」の計11種類。いずれも蕨市を象徴するデザインで、お気に入り

りのバッグや帽子に貼り付けてお出かけしたくなるような上質な仕上がりです。アイロンで簡単に圧着できるため刺繍を気軽に身につけて楽しめるのも魅力のひとつ。

岡本洋品店ではお客様ごとの要望に応じた柔軟な対応を得意とするため、個人のお客様はもちろん、コンピューターミシンを駆使して企業や団体の注文にもスピード感をもって対応しているそうです。100年続くお店に共通する確かな技術と柔軟な対応力がキラリと光ります。



糸素材と布地に合わせて機械ミシンの調整を行います

刺繍直後の生地

ひとつひとつ丁寧に切り出します



バリエーション豊かな刺繍コレクション

ワッペンが目を引くグッズ

有限会社 岡本洋品店

住所 蕨市中央5-11-14

電話 048-431-3022

営業時間 9:00～20:00

定休日 月曜日

<https://www.okamoto-sisyuu.com>

<https://x.com/OkamotoSisyuu>



※オリジナル刺繍も承ります。特殊な素材の服をお持ちいただく場合は、あらかじめご相談ください。混雑具合や物によっては数日お預かりする可能性もございます。



わらびりんご生産管理団体 わらびりんごようかん



販売価格 650 円 (税込)

市民も一緒になって収穫するわらびりんご

蕨市内では毎年 4 月上旬から中旬にかけて白くて可憐な花が咲き街を彩ります。日本一早く実がなると言われている極早生種のわらびりんご（愛称）です。蕨市錦町の農家、故・吉澤正一さんが約 20 年かけて研究・開発し、1981 年に新品種として登録されました。「リンゴのない季節に病人や子どもに新鮮なリンゴを」と願った吉澤さんの思いは今も地元の農家をはじめ有志によって大切に受け継がれています。

わらびりんごは花を咲かせてからわずか 60 日前後で収穫期を迎えます。6 月中旬から下旬になると市民

団体をはじめ親子収穫体験を開催するなど、市民と一緒に収穫作業を行い、その喜びをみんなで分かち合います。わらびりんご生産管理団体の代表を務める奥田光由さんによると、昨年 2025 年度は約 700kg の収穫があったそうです。

直径約 7 センチ、重さ 150 ～ 200 グラムほどの小ぶりなわらびりんごは酸味が強く、ジュースやジャム、アップルパイなど加工に適しているため、商品開発の取り組みも市民にとって楽しみのひとつになっています。



現在わらびりんご生産管理団体は地元の農家を含む約 20 名のメンバーで活動を続けていますが、高齢化もあり今後の活動について考えるようになりました。蕨市内で農業を続けていくのも難しくなっていくでしょうし、だからこそわらびりんごが市民の方に愛されるものではないと残っていくのは難しいのかなと思っています。私たちの活動が打ち上げ花火で終わらないように、次の世代にも残っていくようにわらびりんごが生活にもっと身近になってくれるような活動やイベントを考えています。わらびりんごは生産者だけのものではなく、商品開発の取り組みについても私たちが考えていくというよりも、市民の方も一緒になってみんなで考えて作っていくというのが一番良いのかなと思います。



わらびりんご生産管理団体
会長 奥田 光由さん

待望の商品化第3弾はひとくちサイズのようかん

わらびりんご生産管理団体を中心とした商品開発の取り組みは、「わらびりんごサイダー」（2015 年）、「わらびりんごシャーベット」（2020 年）に続き、待望の商品化第3弾は「わらびりんごようかん」に決まりました。2024 年 10 月に発売され、製造した約 770 個が年内に完売してしまうほどの人気ぶりだったそうです。

市民と一緒にみんなで収穫したわらびりんごの果汁を使って作り上げたわらびりんごようかんは、試作の段階からアンケートを実施するなど、多くの市民が関

わって誕生した一品です。わらびりんご特有の上品な酸味と白あんのやさしい甘味がバランス良く、食べた後もすっきりとした爽やかな余韻が口の中に残ります。

1 袋 8 個入りのパッケージもちょっとした手土産にぴったりのサイズ感で、食べやすいひとくちサイズの個包装になっているのも嬉しいポイントです。子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで年代を問わず気軽に食べられるため、家族団らんを過ごす楽しいひとときにもおすすめです。



桜と入れ替わるように咲く白い花



小ぶりで強い酸味が特徴のわらびりんご



りんご採れたね



近隣の小学生もお手伝い



りんごが青いうちに収穫するのをイメージしたパッケージ



地域の皆さんと一緒に収穫（わらびりんご公園）

わらびりんご生産管理団体

問い合わせ 蕨市商工観光課
電話 048-433-7750
販売場所 カフェふわり 中央 5-14-15 蕨市役所内 / 10:00 ～ 15:00 / 定休日: 土日祝
WARABI SELECT SHOP 中央 3-6-4 / 10:00 ～ 18:00 / 定休日: 日、祝
※上記店舗のほか、市内各店舗でも販売しています。
詳細は、商工観光課までお問合せください。



詳細は市 HP でご確認ください。

第一期・第二期・第三期 蕨ブランド認定品をご紹介します

歴史やストーリー性など蕨らしさを有した優れた商品を蕨ブランドとして認定する「蕨ブランド認定制度」。これまでに認定された商品は16品です。蕨の地域資源であるわらびりんごを使用したサイダーをはじめ、蕨の伝統織物である双子織を使用したバッグや日傘、スポーツウェア、河鍋暁斎の下絵をモチーフにしたガラス工芸品ほか、蕨の認知度向上に寄与する蕨書き順Tシャツや蕨服、蕨もちやNゲージなど、どの商品も厳正なる審査の上、認定された逸品です。

P2-3では、認定品の販売および関連場所をマップにまとめましたので、ぜひ、足を運んでみてください。

第一期認定品

有限会社上田衣料

「蕨上田」
オリジナル蕨服

住所：蕨市塚越2-3-13



株式会社ワイアンドシー

IBIZA
双子織バッグ

※現在は生産終了



有限会社クチュールカワムラ

蕨双子織
ショルダーバッグ

住所：蕨市中央3-2-9
[WARABI SELECT SHOP]でも販売



株式会社プラスト工房

蕨硝子(河鍋暁斎シリーズ)

住所：蕨市北町3-6-2
販売場所：市民体育館、川口市芝園町2-2芝園ハイム122号



わらびりんご生産管理団体

わらびりんごサイダー

販売場所：カフェふわり(市役所内)、スマイラ松原売店、市民体育館、酒類商組合協力店舗ほか



第二期認定品

株式会社ニィニ

双子織
トラックジャケット

住所：蕨市塚越5-50-4
販売場所：[WARABI SELECT SHOP]



株式会社マイクロエース

C11-304蕨保存車

販売場所：マイクロエースでは、販売は行っていません。市民体育館ほか



有限会社染太郎

蕨書き順Tシャツ

販売場所：蕨市観光協会や市内のお祭りほか、同社HPで購入できます。



蕨双子織夢工房

双子織日傘

販売場所：[WARABI SELECT SHOP]や[flagsflag]



一般社団法人蕨ブランド協会
WARABI SELECT SHOP

わらびの蕨もち

住所：蕨市中央3-6-4



第三期認定品

kalra(カルラ)

双子織ヘアバンド
織り髪-Origami-

販売場所：[flagsflag]



株式会社オールージュ

ぎゅうぎゅう
わらびグッズ

住所：蕨市錦町2-6-1(蕨工業団地内)
※販売はネット通販のみ。詳しくは同社HPでご確認ください。



わらびりんご生産管理団体

わらびりんご シャーベット

販売場所：カフェふわり(市役所内)、市民体育館、萬寿屋、酒屋なかも勢



株式会社あぶらび

蕨産のゆずを使った
マドレーヌ

住所：蕨市中央7-2-1
[WARABI SELECT SHOP]でも販売



株式会社フレル

わらびもちショコラ

住所：蕨市南町4-12-20(本店)
蕨市中央3-4-1(蕨駅前店)
[WARABI SELECT SHOP]でも販売



蕨市多機能型事業所
スマイラ松原

小さな蕨の小さなパン 結

住所：蕨市錦町3-3-27(蕨市総合社会福祉センター内)
※[結]は受注生産のため、お問い合わせの際は同施設にご連絡ください。



蕨ブランド認定審査会

蕨市は日本一小さな市などの特徴や魅力がありますが、さらに蕨の魅力発信を高めるために蕨ブランド認定制度は生まれました。認定品は、事業者の創意工夫でつくられた「蕨らしい」お勧めの逸品です。ブランド認定品となるには幾度も工夫を重ね、品質や味には自信をもってご紹介できるものを審査会としても選定しております。

認定品を通じて、蕨を知り、蕨に愛着を持ち、地域の活性化や魅力向上を目指しております。「蕨にしかないもの」「蕨で買いたいもの」があることは大切です。ぜひ多くの市民、事業者には蕨ブランド認定品をご活用いただければと思います。



ながさわ えい
委員長 永沢 映

選出区分	氏名	備考
学識経験者	ながさわ えい 永沢 映	特定非営利活動法人 コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事
商工団体代表	うしくほ せいご 牛窪 啓詞	(元) 蕨商工会議所会頭
学識経験者	おがわ 良佳 小川 良佳	株式会社インポリュート 代表取締役
学識経験者	さいとう ともや 齋藤 哲也	合同会社 ローカルデザインネットワーク 代表
その他 (PR大使)	まち あせい 町 亜聖	フリーアナウンサー、蕨市 PR 大使